

2011 年度春季通常理事会議事録 (社)日本バーテンダー協会

日時 2011 年 5 月 21 日(土) 13:00~16:00

場所 ANA クラウンプラザホテル金沢

出席者 理事 28 名 顧問・相談役 4 名 オブザーバー 3 名 その他 3 名 合計 38 名
議長 佐藤昭次郎(会長)
議事進行 岸久(専務理事)
議事録作成 砂田道雄(総務局長) 福原一成(中国地区本部幹事長)
議事録署名 保志雄一(技術研究局長) 古田土雅行(財務局長)

1. 会長挨拶

佐藤昭次郎会長より理事会開催にあたり挨拶が行われる。開会に先立ち亡くなられた故野坂 隆名誉会員、故大木知次名誉会員、東日本大震災の被害者の方々に対し黙祷が行われた。

2. 東日本大震災の対応に関して

岸専務理事より東日本大震災に対して、協会としての対応について詳細が説明される。
村上東北地区本部長より東北地区本部の現状等について報告される。

3. 岸専務理事より顧問・相談役・オブザーバーが紹介される。

[顧問]中村健二 [相談役]橋本昌三、後藤新一、河守勝次郎 [監事]相原勝、小松利春
[オブザーバー]早川恵一(技術研究副局長) 福原一成(中国地区本部幹事長) 鈴木正(総会予定議長)

【議題】

第 1 号議案 2010 年度事業報告・各地区本部・各局・各委員会 活動経過報告

①2010 年度協会活動経過報告

佐藤昭次郎会長より 2010 年度協会活動経過、2011 年度協会活動予定が報告される。
下記項目、その他について説明される。

- ・一般社団法人移行に関する課題への取り組み。
- ・健全財政運営に伴う改善計画への取り組み。
- ・新たなホームページの開設と情報配信のスピード化。
- ・賛助会員会議(2/14)の開催報告及び今後の継続と内容充実。

②2010 年度各地区本部活動経過報告

- ・北海道地区本部(森野友夫)・東北地区本部(村上徹)・新潟地区本部(高島幸生)
 - ・関東地区本部(酒向明浩)・中日本地区本部(佐山義則)・関西地区本部(木村義久)
 - ・中国地区本部(森公三郎)・四国地区本部(森山秀光)・九州地区本部(高橋弘行)
- 以上の各地区本部長より 2010 年度の各地区本部活動経過(議案書参照)が報告される。

③2010 年度各局、各委員会、活動経過報告

- ・総務局(砂田道雄局長)・技術研究局(保志雄一局長)・渉外事業(川島庄平局長代行)
- ・広報局(酒向明浩局長)・国際局(上野秀嗣局長)・検定試験委員会(岸久委員長)
- ・編集委員会(酒向明浩委員長)・顕彰委員会(森公三郎委員長)

以上の各局、各委員会の 2010 年度活動経過(議案書参照)が報告される。

第2号議案 2010年度決算報告

古田土雅行財務局長より2010年度決算報告がされる。

[質疑応答]

- ・伊藤裕敏理事より負担金の詳しい説明、事務員3名解雇に対する給与、退職金を含む詳細説明が質問される。
- ・古田土局長より負担金収入については協会事務所を関東地区本部と兼ねている為、関東地区本部からの家賃負担分収入と事務員の割当給与であることの詳細が説明される。
- ・岸久専務理事より、会議時間の制約上、理事会及び総会時の質問については事前にガゼット記載の議案書並びに正味財産増減計算書等を精査の上、各地区本部長を通じて文書にて協会に提出されることが企画運営会議にて決定されており、今後は各地区本部に協力をお願いしたい旨、要請される。
- ・岸久専務理事より事務局員2名解雇問題の経過が詳細に説明される。(事務員1名は自主退職)退職事務局員の給与、役職手当、退職金は規定通り支払済み、退職者1名から出された不服申し立てについては、以前の減額手当分等の支払いにより、解決済みであること。
また、今後の事務局運営についての取り組みと展望についても説明される。

第3号議案 その他 法人移行問題とそれに伴う法人改革について

岸久専務理事より法人移行問題に関して、厚生労働省の立入り検査、改善勧告、等について下記項目が説明される。

- ① 現行の定款、規約には現状との乖離箇所が多数あり、問題点として改善が指摘されており新定款、新規約の策定を急がなければならない。
- ② 今後の方向としては、公益法人にも移行可能な位置づけを残した、非営利の一般社団法人を目指す。非営利一般社団法人移行にもかなりの組織改革が必要である。
- ③ 会員数や広告収入の減少に伴う財政上の問題もあり、総会は現状の年2回開催から1回に改める。旅費等の経費弁償については、規約にて支払い規定を明快にし、基本的には全額支給する。今年の夏までには新定款、新規約の骨子を定め、秋季総会にて承認を得た上で、本年度中に一般社団法人の申請を済ませ、2012年度中の認可獲得を目指したい。
代議員の名称は評議員に改め、定数を削減する。すべての役職に任期、定年を設ける。
支部という名称は新定款、新規約上では存在しなくなり、支部は本部内の内規として扱う。
- ④ 資格制度についても、公益性を含めた資格制度に改革しなくてはならない。
会員資格、入会手続きについても改革が必要で、ホームページからでも入会申込みが出来るようなシステムを考えて行く。例えば一般会員と正会員制度。また、会員制度の中でも組織会員、名誉会員、賛助会員、団体会員等の在り方を考えて行きたい。また現行の支部に所属しなくてもよい一般会員とかの在り方も考えていかななくてはならない。名誉会員についても名称を変えなければならないかも知れない。
- ⑤ 会員に限らず受験できるNBA認定資格を設ける。広く一般には「カクテル検定」を実施して社会に適正飲酒の普及の一躍を担い、更には会員増強に繋げていきたい。
現会員の技能認定資格も改正していく必要がある。
- ⑥ ジュニアカクテルコンペティションの位置づけ、名称の変更も含め、全国技能競技大会の登竜門になるような競技会や、世界の多様化するカクテル競技会等を踏まえた、新しい試みも考慮中である。

⑦ NBAとして、長い歩みの中で蓄積されて来た知的財産を確保した。

「カクテルの日」などNBAが使用してきた各名称の利用者には何らかの条件を提示して使用許諾を付与していく。

「日本バーテンダー協会」という名称は確保済みであり今後は〇〇バーテンダー協会といった類似名称には禁止権を行使する可能性がある旨説明がされる。

[質疑応答]

- ・伊藤裕敏理事より、規約改正に関して、総会を1回にする事の検討内容を知りたい。また会員増強と、退会者増加の現状の取り組みについて説明してもらいたいとの質問がされる。
- ・岸久専務理事より、総会開催については新定款、新規約が決定次第検討することと、会員増強退会者の取り組みについても、今までの会員制度を見直した上で新会員制度を確立し、今後の会員増強を図って行く事の説明がされる。
- ・井上赫朗理事より、厚生労働省からの改善勧告の指摘事項と協会の改善事項とが解かりづらいのもう少し整理して提示説明してもらいたいとの要望がされる。
- ・岸久専務理事から、厚生労働省によると改善案の文書提示は最終段階であり、先ず口頭で現状説明と改善案を協会側が考えて提示しなくてはならず、整理はついているが、まだ文書としては作成できていない事の説明がされる。

厚生労働省側から文書として提示された改善勧告事項は、

- ① 役員の選任に関する手続きに不備があり改善する事。
- ② 法令に違反する事項があり改善方針を文書にて提出する事。
- ③ 会員の入退会の手続き、入会金、会費手続きが規約通りに行われていない。
- ④ 教育機関の設置運営が定款に反している。

等であるが、厚生労働省との話し合いの中で提示した協会運営改善計画案で、ほぼ了解済みでありその後の厚生労働省との折衝も順調である事の説明がされる。

- ・成松孝理事より、協会の法人移行問題、改善問題についての様々の問題点が口頭では非常に理解し辛く文書にして提示して貰えないか、という質問がされる。
- ・岸久専務理事より、8月の臨時理事会迄には文書として提示するが、今回は出来ない旨説明される。
- ・成松孝理事より、新組織図案、新定款規約案がいつ頃までに文書に出来るか質問される。
- ・岸久専務理事より、8月の臨時理事会前の少なくとも10日前迄には各理事に文書送付する事を説明。
- ・成松孝理事より行政官僚への対処の仕方、政治家の利用等、対処方法の提案がされる。
- ・岸久専務理事より厚生労働省側との度重なる折衝の中で、法人移行、改善問題については前向きな話し合いが進んでおり、現在のところ政治家等に頼る必要はない旨が説明される。
- ・緒方勵理事より、厚生労働省が協会の内規にまで干渉する事は異常であり、役職の任期定年制度には疑問を覚えるという意見がされ、厚生労働省に対して協会としての態度も熟慮する必要があるのではないか、と質問される。
- ・岸久専務理事より、法人移行改革の中で、新定款規約の策定は避けて通れない問題であり、協会のこれまでの歴史を踏まえた上で、善処する事の説明がされる。

4. 閉会の挨拶

佐藤昭次郎会長より、現在の法人移行、法人改革問題に対する今後の展望の補足説明がされ、今後は更に素晴らしい協会となれる様に取り組んでゆくと説明され、閉会の挨拶がされた。


以上をもって議案のすべてが協議され 2011 年度春季通常理事会が終了された。

上記の決議を明確にする為、議事録署名人は署名捺印する。

2011年5月21日

社団法人日本バーテンダー協会

2011年度・春季通常理事会

議事録署名人 保志 雄一 

議事録署名人 吉田 雅行 